

第 6 1 号
2025 年 3 月 31 日



埼玉県合唱連盟
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13
(朝日新聞さいたま総局内)
TEL 048-824-8161
FAX 048-831-5310
<https://saicl.net/>

SAITAMA CHORAL NEWS パウゼ

Pause

第77回全日本合唱コンクール全国大会 県勢の活躍光る

高等学校部門Bグループ

- 金賞・文部科学大臣賞 埼玉県立松山女子高等学校音楽部 (第1位 2年連続)
- 金賞・埼玉県知事賞 埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部 (第2位)
- 金賞 星野高等学校音楽部

小学生部門

- 銅賞 上尾きらきら合唱団

大学職場一般部門 混声合唱の部

- 金賞・愛媛県知事賞 scatola di voce (第2位)
- 金賞 Sopra il fiume

第77回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催)で、松山女子高校音楽部、浦和第一女子高校音楽部を始め6団体が出場し、輝かしい成績を収められました。高等学校部門Bグループで最優秀にあたる文部科学大臣賞を2年連続で受賞した松山女子高校音楽部と埼玉県知事賞を受賞した浦和第一女子高校音楽部の生徒と顧問の先生方が、12月24日に大野元裕知事と日吉亨教育長を表敬訪問し受賞の報告をされました。





**埼玉県立松山女子高等学校音楽部
金賞・文部科学大臣賞**

この度、3度目そして2年連続の文部科学大臣賞を受賞致しました。今回の自由曲「風のシンフォニー」は宮本正太郎先生への委嘱作品で、テンポやリズム、多声部による音の重なりがとても難しかったです。しかし、自分達だけでなく聴衆の皆様にも曲の世界観に没入し、ワクワクしていただけ

るような“最高の演奏”を目指して部員一同、心を一つにして練習を重ねて参りました。本番では、一人一人がのびやかに歌い、聴衆の皆様的心里に響く私達らしい演奏ができたと感じております。演奏後、部員たちから「楽しくて終わってほしくなかった」という声を聞けたときは嬉しく思いました。音楽部はたくさんの笑顔で溢れ、優しさで温かさに包まれた“奇跡の空間”です。この仲間たちと出逢い、一緒に過ごした日々や全国という大きな夢の舞台上で歌えたことはかけがえのない宝物です。これまで応援してくださった皆様、そして関わってきた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

(部長 大槻桃香)



**埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部
金賞・埼玉県知事賞**

私たちは「万里一空に唱え」というスローガンを掲げ、部員一人ひとりの「個」を大切にしながら音楽と向き合って参りました。「自分の感情を表に出す」という練習を日々の中で重ね、本番は緊張や不安に負けず、感情を込めて歌えたことがこのような結果に繋がったのだと思います。また今大会を

経て、仲間と共に努力することの尊さを実感しました。この部活にいる仲間と同じ目標を志すことも、意見を共有することも、そして毎日共に歌うことも、永遠ではなくていつかは終わりが来るもの。だからこそ価値があって尊いものなのだということを、合唱という活動を通して学ぶことが出来ました。この代のこのメンバーで最高の音楽を奏でられてとても幸せです。

日頃より私たちを支え、応援してくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。積み上げてきた物を糧に、その時にしか出せない浦和一女音楽部の「音」を大切にしながら、更なる高みを目指して参ります。

(部長 藤澤彩奈)



星野高等学校音楽部 金賞

私たち星野高校音楽部は、第77回全日本合唱コンクール全国大会にて金賞を頂くことが出来ました。このような賞を受賞することができたのも、今まで支えてくださった皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

学年を超えた絆を深めるための練習や一人一人の目標を可視化し共有することで、互いに高め合う環境を作ることができました。

このような取り組みが、私たちの団結力を強める大きな要因となったと思います。本番前の練習で、全員で輪になり互いの顔を見ながら歌ったとき、「この仲間たちがいれば大丈夫」との自信を持ち、本番のステージに立つことができました。

これまでの努力が実を結び、金賞という素晴らしい結果を得られたことを本当に嬉しく思います。この経験を通じて、仲間との絆や共に頑張ることの大切さを再確認しました。これからもこの仲間と共に、さらなる高みを目指していきたいと思います。

(部長 原澤咲桜)

(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

小学生部門

(2024年11月17日 @けんしん郡山文化センター大ホール 福島県)



上尾きらきら合唱団 銅賞

この度は、埼玉県代表として「全日本合唱コンクール 全国大会 小学生部門」に出場させていただき、銅賞を受賞しました。

私たちは昨年度まで「上尾小学校 合唱団」として活動していましたが、世の流れを受け、今年度は地域団体として活動しております。学校団体と比べると練習時間も限られており、集団運営に難しい面もありました。

そんな中でも、子供たちの目に見えない努力や保護者の絶大なる支援のおかげで、全国大会という大きな舞台に立たせていただきました。想像以上の大きなホールや多くの観客に、子供たちはちょっぴり緊張したようです。

団長の6年生が「心に残る演奏ができた。19人の絆を合唱という形で表現できた。」と申しておりました。未来ある子供たちに貴重な機会をいただいたこと、心より感謝いたします。

(上尾きらきら合唱団 代表 市川祐衣)

(写真提供 大阪フォトサービス)



scatola di voce
金賞・愛媛県知事賞

この度は、このような機会を頂戴し、誠にありがとうございます。この場をお借りして、日々の活動を支えてくださっている全日本合唱連盟の皆様、そして応援してくださっている皆様に、心より御礼申し上げます。私たちは、2023年に「リスタート」という決断を下しました。リスタートして

から大変なこともありましたが、新しい仲間や音楽との出会いに恵まれ、充実した再スタートを切ることができたと感じています。そんな私たちですが、昨年度の新潟全国大会で創団以来初の金賞、そして本年度の愛媛全国大会では2位金賞を頂くことができました。まだまだ至らぬ点だけですが、自分たちなりに音楽と精一杯向き合ってきたことを、音楽の神様が見守ってくださったのかなと信じています。これからもscatolaは成長を続けていきます。まだ見ぬ仲間や音楽との出会いを楽しみに、精進してまいります。今後とも応援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

(scatola di voce代表 濱野凌平)



Sopra il fiume 金賞

Sopra il fiume(ソプラ)は、2018年に創団して以来、初の全国大会への推薦をいただきました。

今回の全国大会の開催地が愛媛県松山市ということで、団員一同、瀬戸内のグルメや道後温泉を満喫しながらも、埼玉県の代表としてベストな演奏ができるよう当日まで練習を重ねました。混声合唱の部として

はなかなかない24人・指揮なしでの出演でしたが、結果として金賞を頂き、かつ全国の皆さんに演奏をお届けできたことが非常に嬉しかったです。

埼玉県は中学生・高校生の合唱活動が非常に盛んですが、そんな彼らが大学生・社会人となってからも歌いたいと思ってもらえるような合唱団の存在が、埼玉県の合唱をより盛り上げることに繋がると思っています。そんな若い彼らにとって、憧れを感じてもらえるような演奏を目指し、これからも研鑽を積みしたいと思います。今後のソプラの活動にご期待ください!!

(団長 奚佳亮)

(写真提供 大阪フォトサービス)

第77回全日本合唱コンクール全国大会(高等学校部門・中学校部門) in ソニックシティ

2006年、2015年に続く3回目の埼玉県開催

第77回全日本合唱コンクール全国大会(高等学校部門・中学校部門)は、ソニックシティ(さいたま市)を会場に行われました。シンボルマークのデザインを考案していただいた元理事松川大さんを始め、大会スタッフとしてお集まりいただいた県連加盟合唱団の皆様やスタッフ募集の呼びかけにお応え参加いただいた方々、県理事・元理事など多くのご協力の元、無事終わることができました。皆様、誠にありがとうございました。



♪ シンボルマークデザイン 松川 大 氏(元埼玉県合唱連盟常務理事)

この度、第77回全日本合唱コンクール全国大会、中学校・高等学校部門のシンボルマークをデザインしました松川大と申します。

はじめにこのお話をいただいたときは「何しろ楽しそう!」と胸が躍ると同時に「中高生の想いに寄り添い最高の思い出となるシンボルマークを作らなければならないな」とピシッとした気持ちになりました。

【全国大会のステージを楽しんで歌って欲しい、それを手助けできるデザイン】をコンセプトに定め制作をスタートさせ、埼玉県での全国大会ということでしたので県のキャラクター「コバトン」と埼玉県合唱連盟のキャラクター「たまりん♪」の夢のコラボレーションとなりました。

埼玉県合唱連盟が愛するたまりん♪を全国大会に送り出せた事もとても嬉しかったです。

文字には沢山の色を使い全国大会の華やかさを表現し、ふとバッジを見た時には緊張が和らぐような優しいデザインを心がけました。

その想いが伝わったかは分かりませんがバッジをつけて声高らかに歌う中高生の姿を見ることができ感無量でしたし、逆に元気をもらいました笑。

最後になりますがこのような素敵な機会を頂いた全日本合唱連盟、埼玉県合唱連盟の皆様にも心より感謝申し上げます。

♪ 係員にご協力いただいた皆様

川越女子高校 春日部女子高校 女声合唱団 悠はるか 女声合唱団翠声会II組 Blue Octopus

ピアチェーレ 埼玉栄高校 クール・ヴァン・ヴェール 女声合唱団 水脈 Blanc Bouleau

彩の国コンソーシアム合唱団KIRARA☆Mixed Ladies Choir 潮の音 戸田市児童合唱団

Il Campanile 星野高校OG 熊谷高校 大宮高校 伊奈学園総合高校 浦和第一女子高校OG

豊岡高校 男声合唱団メンネルA.E.C. 岩槻高校 秩父混声合唱団 久喜高校

順不同

♪ Backstage バックステージ

様々な場面でお世話になりました 誠にありがとうございました





女声合唱の祭典 第47回全日本おかあさんコーラス全国大会



August 24, 25 @札幌コンサートホールKitara

第47回全日本おかあさんコーラス全国大会の報告と感想

女声合唱団 悠はるか 鈴木えり子

女声合唱団悠はるかは、来年創立35周年を迎えます。私たちは、中田喜直作曲の「六つの子供の歌」を指揮者の宮寺勇氏、ピアニストの片桐春香氏と共に長い期間取り組んでまいりました。懐かしい情景を思い起こされる曲集です。たくさんの方々にお聴き頂きたいと願っていましたが、思いがけず、おかあさんコーラス全国大会へ行けることが決定しました。開催会場である札幌コンサートホールKitaraはホール内全て柔らかな曲線のフォルムの木材で造られた美しいホールでした。

ワクワクするような楽しい雰囲気で行った開会式、柔らかな声の紹介アナウンスで、私たちもリラックスして本番に臨みました。インタビュー、写真撮影、表彰式全て、明るく和やかな雰囲気で行われ閉会となりました。

札幌は都会的な街でしたが、時計台の鐘の音を聞いたときに、どこか昭和の懐かしい空気も感じられ、この地でこの歌を歌うことが出来た事、深く感謝いたします。



(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

彩の国 シニアコーラスフェスタ 2024

November 25 @所沢市民文化センター ミューズ アークホール

彩の国シニアコーラスフェスタ2024を開催して

合唱(うた)と健康の集い実行委員会 副会長 加藤良一

彩の国シニアコーラスフェスタが昨年11月25日開かれました。これはシニアのためのシニアによる合唱祭です。合唱(うた)と健康の集い実行委員会(愛称うたけん)が主催しています。『合唱は生涯学習。いくつになっても歌い続けて欲しい。立ち続けるのが大変なら座れば良い。豊かな経験に基づいた詩の理解がある。共に年齢を重ねた仲間と長く歌い続けてほしい。』というコンセプトのもと、歌うだけでなく体操や身体を動かす方法を理学療法士の先生から教えていただき、いかに健康



に楽しく過ごすか実践します。参加資格は自称50歳以上で構成する合唱団、県連加盟は不問。公募のプラチナ合唱団(混声)は千原英喜曲「Greetings」、信長貴富曲「言葉は」を岸信介先生(前全日本合唱連盟理事長)の指揮で演奏。演奏終了後はそのままステージ上で講師から直接講評を受けました。演奏直後に生の講評をその場で聴けるというちょっとうれしい企画です。

第69回埼玉県合唱祭



6月の土日の4日間、埼玉県内各所にて、埼玉県合唱祭を開催しました。これまで5日間で開催していたところを予算の都合上4日間での開催としました。団体数は昨年より少し増えて175団体、出演人数は約3600名です。特に高校生男声合唱の人数がだいぶ増えてきたことがうれしい限りです。今年久しぶりに、開会式で「連盟歌」、閉会式で「日々あたらしく」を全員合唱しました。「日々あたらしく」はコロナ渦で合唱活動ができない期間に、埼玉県合唱連盟が土田豊貴先生に作曲を依頼し、リモートでの初演をしようという企画でできた曲です。それを今回の合唱祭ではじめて生演奏することができました。さらに2日間講師を務めた土田豊貴先生が、指揮をしてくださり、会場中に大合唱が響き渡りました。



途中小休憩では、高校生による体操タイムがあり、オリジナリティー溢れる体操を参加者で楽しんだり、合唱団同士でいいねカードを交換したりと、合唱祭ならではの楽しい雰囲気を作ることができました。

(常務理事 栗原晶代)



トコロん (所沢中・南陵中・美原中合同混声合唱団)



埼玉県立浦和高等学校グリークラブ

6月9日@埼玉会館
6月15日@彩の国さいたま芸術劇場
6月16日@さいたま市文化センター
6月23日@熊谷文化創造館



埼玉県立川越高等学校音楽部



コーロ・フェリーチェ



Blue Octopus



ジュニア集まれ!

(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

SAITAMA コーラスワークショップ 2024

5月12日(日) 星野記念講堂ハーモニーホールに於いて、「SAITAMAコーラスワークショップ 2024」を開催いたしました。今年も昨年に続き2回目となる「Nコン」(NHK全国学校音楽コンクール)の中学校の部の課題曲に焦点を当てた内容で、ご指導いただく講師の先生も昨年に続き福永一博先生。会場は「またあの講義を受けられる!」という期待に活気があふれていました。開催の時期が課題曲発表から一か月ほどという短い期間でしたのでどれだけご参加いただけるか心配しておりましたが200名を超えるご参加をいただき感謝申し上げます。当日は、事前練習を2時間、休憩をはさんで福永先生の講義を約3時間というスケジュールでしたが、参加のみなさん全員が受講生となり一緒に練習して課題曲を知りましょう、というスタンスで開催できたのも、お隣同士が仲間となり良い雰囲気生まれていただけたおかげかと思えます。後日、ご参加いただいた皆様からも喜びのお声をいただきました。最後になりますが、素晴らしい会場をお貸しくださった星野学園のご協力に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

(常務理事 金田典子)



♪次回の予告♪

日程：2025年5月25日(日)

会場：響の森 桶川市民ホール

内容：NHK全国学校音楽コンクール 中学校の部課題曲、全日本合唱連盟合唱コンクール課題曲

講師：大谷研二先生、キハラ良尚先生

沢山のご参加をお待ちしております。

第48回全日本おかあさんコーラス埼玉県大会 ～女声合唱の祭典～

3月1・2日「おかあさんコーラス大会」が、和光市サンアゼリアホールにて開催されました。今年は、埼玉県大会として第50回の記念すべき年となりました。これまでに35回以上出演して頂いた団体の表彰、ブロックごとの特別賞、演奏前の自団の紹介など、おかあさんコーラス大会らしい、華やかな演出で楽しく豊かな時間を過ごすことができました。特別賞では各ブロックごとに、講師の先生(木下牧子先生・土田豊貴先生・横山潤子先生)に関東大会への選考とは別に、お気に入りの1団体を選んでいただき、選ばれた団体には、ご自身が作曲された作品のサイン入り楽譜、先生とご一緒に記念撮影という特典がプレゼントされました。50年という記念大会を終え、100年後のおかあさん大会は、どんな大会になっているのか…。そんなことをふと思ってしまいました。仲間と声を合わせる素敵で幸せな時間が続いて欲しいと願っております。

(常務理事 竹下由布子)



(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

てるお
照夫の部屋 ~講師の先生方へのインタビュー~

今年度のおかあさんコーラス埼玉県大会は50回を記念して、閉会式での講評に代わり講師の先生方へインタビューを行いました。小野瀬理事長によるインタビュー、題して「照夫の部屋」です。

Interview 木下 牧子 先生

小野瀬理事長（以下、理事長）：このインタビューにあたり、参加の皆様より事前に受けていた質問の中からいくつかお答えいただければと思います。まず、「**ピアノ伴奏付きの合唱曲とアカペラの合唱曲を作曲するにあたり、何か気をつけていること**」はございますか？特に女声合唱、例えばアルトの音域などとかはどうでしょうか？

木下先生：最初から伴奏が入る場合は、女声3部（4部）とピアノ伴奏ということで発想します。アカペラの場合はアカペラの3部、4部で発想しますので、この場合はこうするとかというのではなく、最初から発想の仕方が違うのですね。

理事長：入口が違うのですね。

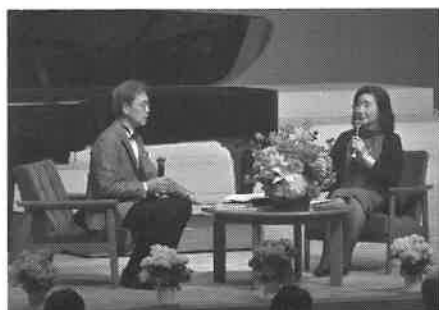
木下先生：そうですね、案外入り口が違うので、そんなには混同とかしないですね。

理事長：先生の曲で、元々はピアノ伴奏付きの曲だったものをアカペラに編曲する場合などは？

木下先生：ピアノ伴奏からアカペラにする場合はそれほどないのですが、アカペラからピアノ伴奏にする時は、もともと存在していたような自然なピアノ前奏を新たにつけるのに、案外苦労します。

理事長：先生にとってはそれぞれの特徴があるということですね。

木下先生：そうですね。



理事長：次は少し別の角度からの質問となりますが、「**好きな場所、好きな季節**」をお伺いいたします。例えば旅行に行くとしたらどこが良いですか？

木下先生：私、旅行は大好きで、最近は体力がないのでできれば国内で、美味しいものがあるって、温泉があるという、この2つ。ついこの間、温泉はなかったのですが、京都へ行ってきました。「陰陽師」というオペラを書いたのですが、その中に貴船神社が出てくるのですね。オペラを書く前にもお参りしたのですが、今回お礼参りとなりますか、そちらへ行ってきました。

理事長：季節はどうですか？

木下先生：秋が一番好きですが、旅行へ行く時は冬が良いですね。冬の京都は素晴らしいです。

理事長：思い出深い場所がありますか？

木下先生：合唱組曲「四万十川」という曲を書いた時には、高知県の四万十川にご招待いただいて、源流から河口まで車で連れて行っていただきました。

理事長：作曲家というのは訪れた場所とか空気とかでイメージが湧くと言いますが、メンデルスゾーンやチャイコフスキーのように、先生にとっても旅行というのは大事なことなのですね。

木下先生：そうですね。今まで一度も行っていないところが青森県と佐賀県だけなので、この2つは行こうと思っています。

第1日・第1部（Saturday,3/1/2025）

Interview 土田 豊貴 先生

理事長：まずは、「**もし作曲家をしていなかったら何をしていたと思いますか？**」という質問です。

土田先生：僕は中高と不登校であまり学校へ行っていないので、そういう状態でしたので、これはまともな職業に就くのは不可能だと思って、「作曲家になる」というわけも分からない選択をしたんですね（笑）。なので、作曲家になっていなかったらどうなっていたんだろう？まだ家にいるのかな？っていう感じに思っちゃうんですが、でも音楽は好きだったので作曲家じゃなくても、本当はピアニストになりたかったというのもあったので、何か音楽に関わる仕事をしていたかなと思いますね。

理事長：「**ご自分の一番最初の作品、思い出深い作品、例えば子供の時に作った曲**」とかございますか？

土田先生：作曲家の方って自分で作曲する、何か作るのが好きでそこから作曲家を目指すという方と、漠然と音楽と関

わりたい、聴くのが好きで作曲をしたいという方いらっしゃいます。僕は不登校の関係があって、高校出た後に勉強してピアニストになるというのは間に合わないから作曲という風になったので、実は公式に曲を書いたというのは意外と大学に入ってからです。それで子供の頃はあまり作曲とかしたことがなかったのですが、小学校6年の時に夏休みの宿題で「作詞作曲」というのがありまして、それが今でもメロディを全部覚えてますし歌えるぐらいなのですが、恥ずかしくて言えないという(笑)。あの…小学生らしい、タイトルが「恐竜」というc-moll(ハ短調)の曲なのですが、ある意味それが公式に最初の曲です。自分で発表して歌うんです。

理事長：今、歌っていただくというのは？

土田先生：いやいや(笑)。午後の講評に影響しちゃうので。

理事長：「お好きな場所とか季節とか？」という質問がありましたけどどうですか？

土田先生：あの3日前までインドネシアに行っていて、今めちゃくちゃ東南アジアに興味があります。ジャカルタに2週間ほどいたのですけれど、マレーシアとかフィリピンとかちょっと行きたいなと思っています。インドネシアに行って思うことは、インドネシアって1年中30℃以上、いつも暑いのですが、日本って四季がある反面、「また冬が来ちゃったなあ」とか、「また夏暑いわあ」とか、ネガティブな表現するじゃないですか。東南アジアには一切それが無いんで、めちゃくちゃ陽気で、歌うことが大好きな人が多いんです。なので、合唱する際の歌声もとっても明るくて良く響きます。インドネシア滞在中は乱暴な、これ食べても大丈夫なのかなというご飯を食べて、今のところ無事に帰ってきています(笑)。



第2日・第1部 (Sunday,3/2/2025)

Interview 横山 潤子 先生

理事長：まず、この部(2日目第2部)を通して、全体的にどのような印象をお持ちいただいたかお話しいただけますか？

横山先生：皆さん素晴らしかったです。私は歌を歌わないものですから、舞台でまっすぐに立っていらっしゃる、このステージの暑さの中でお歌いになる、しかも歌詞を覚えて歌われる、私には何一つできないことを成し遂げていらして、どなたも皆さんすごいですね。また、チーム毎のカラーを生かした選曲、1部もそうだったのですが、本当に素晴らしいです。



理事長：みなさんからのご質問です。「ご自分を動物に例えたら何ですか？」

横山先生：夜行性の小動物です。いてもいなくても良いような、あまり生態系に関係ないような、暗闇から暗闇へと走り回るような小動物ですね。

理事長：聞いている皆さんがそれぞれ頭の中で想像された小動物ということによろしいでしょうか。次の質問です。「先生は作曲されている時の気分転換はどのようにされていますか？」

横山先生：皆さん、期待されますよね。どこかへ行きますとか、何か食べますとか、何かを見ますとか…。すみません、寝ます…。

理事長：眠るときは夢を見ますが…

横山先生：あさきゆめみし、という感じで、夢と現つの間を歩き来しています。

理事長：続きまして、「もし先生が作曲家になっていなかったら何になられていたでしょうか？」という質問です。

横山先生：何にもなっていないと思います。もし生まれ変わるのであれば、「深山幽谷の苔」になりたいです。雨が降った後の苔になりたいです。

理事長：苔のイメージって、皆さんそれぞれありますが、奥入瀬に行った方はご存知かと思いますが。奥入瀬の苔は瑞々しく素晴らしいです。今、先生のお話を伺って、奥入瀬にあるような生き生きとしてすごく綺麗な黄緑色をした苔をイメージしました。もう一つ、「先生の好きな色は何ですか？」という質問です。

横山先生：好きな色ですか…。綺麗ななと思う色は何でも好きです。むしろ苦手な色は、はっきりしない薄い赤紫の色ですね。苦手な色です。何か温度のある色は好きです。

第2日・第2部 (Sunday,3/2/2025)

第67回埼玉県合唱コンクール

2024年8月24日（土） 高等学校部門（A・Bグループ）

25日（日） 小学生部門 中学校部門（混声合唱の部・同声合唱の部）

9月1日（日） 彩の国部門

大学職場一般部門（大学ユース・室内合唱・同声合唱・混声合唱の部）

@さいたま市文化センター 大ホール

「第67回埼玉県合唱コンクール」を終えて

第67回埼玉県合唱コンクールは今年度も「さいたま市文化センター」で3日間開催しました。8/24（土）は高校部門32団体（棄権1含む）、8/25（日）は小学生部門3団体、中学校部門混声合唱の部11団体、同声合唱の部16団体、9/1（日）は彩の国部門11団体（棄権1含む）、大職一般部門22団体（シード2含む）、計95団体の参加がありました。

今回のコンクールは天候への対応がポイントでした。高校部門の1日目はどしゃ降りの雨で、びしょぬれで会場に到着する団体もありました。さらに、彩の国部門・一般部門の3日目は台風で、数日前から対応の仕方を検討して当日を迎えました。どのような状況にも臨機応変に対応できるよう担当一同心を配り、また出場団体にもはやめに会場にきていただくよう呼び掛けました。結果、皆様のご理解とご協力のおかげで特に問題なく開催することができました。ありがとうございました。

コンクールは合唱団のレベルアップに欠かせないイベントです。昨年より、人数制限もなく、立ち位置指定も撤廃するなど、コロナ前のコンクール実施方法に戻していますが、なかなか参加団体数が増えません。出場団体の皆様がいい歌を歌えるよう不測の事態にも対応し、一層の運営努力をしていますので、多くの団体に参加してもらいたいものです。次年度もよろしくお願いいたします。

（常務理事 生倉みゆき）

高等学校部門 県知事賞
埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部



中学校部門 同声合唱の部 教育長賞
栄東中学校コーラス部



中学校部門 混声合唱の部 県知事賞
所沢市立南陵中学校合唱団



小学生部門 県知事賞
上尾きらきら合唱団



彩の国部門 理事長賞
さいたまシティジュニアコーラス



一般部門 混声合唱の部
県知事賞・全日本合唱連盟理事長賞
Sopra il fiume



(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

2024年度全日本合唱コンクールに寄せて

Sopra il fiumeの松崎と申します。埼玉県合唱コンクールを始め、各種コンクールにて審査をしてくださった先生方、大会運営に携わってくださりました多くの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

2022年までは大学ユースの部、2023年は室内合唱の部と側から見ると迷走と捉えられるような状況が続いていた弊団でしたが、2024年以前の数年は自分たちが進むべき方向を模索し続けた時期となっておりました。まずどの部門に出るべきか、そしてどんな曲が自分たちに合っているのか。その点について仲間と様々試行錯誤をしていた日々が昨日のように感じられます。2024年は混声合唱の部に出場することになりましたが、20名強の規模で指揮なしアンサンブルの形態を取る我々にとってこの決断はかなり大きな挑戦となりました。埼玉県を始め、関東、さらには日本各地の素晴らしい混声合唱団と肩を並べることができるよう、ベストを尽くした結果、素晴らしい評価をいただくことができ非常に嬉しく思っております。

2024年は全国大会に出場させていただいたため、2025年の埼玉県合唱コンクールではシード団体としての出場になりますが、埼玉県代表として恥のないよう、今後とも音楽を追求して参ります。

(Sopra il fiume 練習責任者 松崎太郎)

第33回 彩の国男声コーラスフェスティバル2024

September 28, 2024 @響の森 桶川市民ホール

9/28 (土) 桶川市民ホールにて、講師に合唱指揮者・福永一博先生、埼玉県合唱連盟顧問・北川裕先生をお迎えし実施させて頂きました。

美しい演奏あり、寸劇入りの楽しい演奏あり、高校生のフレッシュな演奏、年齢をものともしない素敵な演奏、さらに会場全員で7曲以上も歌い上げたりと、バラエティーに富んだ笑顔と感動のフェスティバルとなりました。

恒例となっているフェスティバル合唱団も一般合唱団メンバーだけではなく、熊谷高校、浦和高校、川越高校、伊奈学園等、合計95名も加わり、総勢137名の大合唱団となりました。講師の福永先生の軽妙な指揮のもと、会場一杯に圧巻のサウンドを響かせていただきました。

演奏終了後、高校生は福永先生のプチレクチャー、大人は歌声の溢れる楽しい懇親会と、合唱三昧の充実した1日でした。

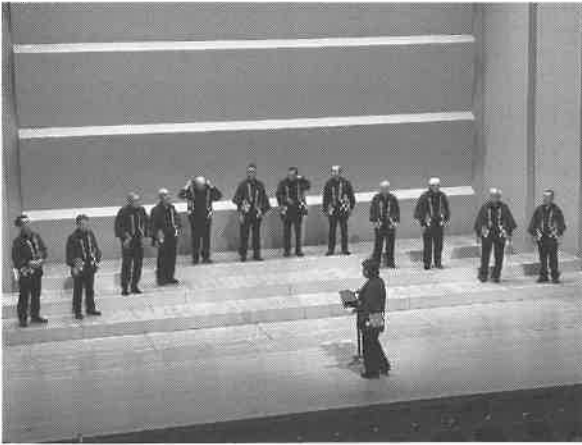
フェスティバル合唱団講習会



合同演奏



演奏会



閉会式



懇親会



次年度は2025年9月27日(土)所沢市民文化センターミュージック・パークホール。フェスティバル合唱団始め、楽しい懇親会も企画していきたいと思っています。是非ご参加くださいませ。

さらに2026年、全日本の男フェスが埼玉での実施となります。今後も男フェス、ご期待ください。

(常務理事 蓮沼喜文)



Saitama Vocal Ensemble Contest

第36回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト

1月19日 @RaiBoc Hall

1月25日・1月26日 @久喜総合文化会館



昨年パウゼに『もっと多くの人に聴いてもらいたい！身近な人に「聴きに来て！」と呼びかけをして合唱の輪を広げていきましょう。』と「ジュニア・レディー・ユース・一般」の団体向けに申しておりました。しかし、今年はレイボック小ホールでの開催となり、沢山呼びかけていたらどうしようと少し心配な気持ちで運営をしておりました。蓋を開けてみると、観客との距離感が近く、シューベルティアードを思わせるようなサロン・コンサートの雰囲気もあり、友人たちを集めたような演奏会形式のコンテストになったのかと思っております。

そして、高等学校の部の団体数の多さ、声種の多様性、合唱を親しんでくれていることに感謝申し上げます。指揮なし、指揮あり、超少人数などアンサンブルをするという「合唱の原点」に立ち返るような演奏が数多くあり、これからも自分たちで音楽を奏でる楽しさを忘れずにいて欲しいなと感動致しました。

部活動の地域移行等、様々な課題を抱えている中学校や小学校の顧問の皆様には、改めて、日ごろのご指導感謝申し上げます。コンテスト参加に関して、こんな事に困っているなどありましたら遠慮なくご相談していただけたらと思います。合唱の裾野が広がるよう共に協力していきましょう。

今年から3名以上から参加できるようになりました。合唱を始めたきっかけ、合唱の楽しいところを改めて思い出して、その思いを身近な人に伝えてみましょう。合唱の仲間が増えることを願っています。

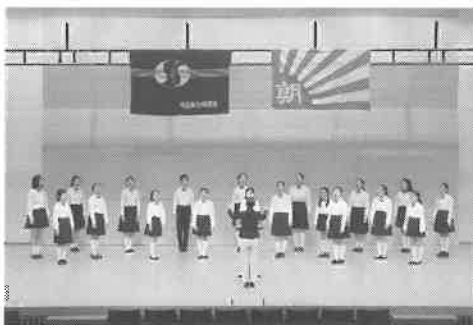
(常務理事 清野将平)

参加団体報告・抽選会時の団体（昨年比）

小学校2団体（3減）・中学校25団体（1減）・高等学校55団体（3増）

ジュニア2団体（1増）・レディー5団体（3減）・ユース6団体（同）・一般12団体（2増）

と幅広い世代に参加をしていただきました。



ジュニアの部
金賞・埼玉県教育委員会教育長賞
上尾きらきら合唱団



一般の部
金賞・埼玉県知事賞
Sopra il fiume



レディーの部
金賞・埼玉県教育委員会教育長賞
T-Croce



ユースの部
金賞・埼玉県教育委員会教育長賞
E-TRICOT



小学校の部
金賞・埼玉県教育委員会教育長賞
富士見市立つるせ台小学校合唱部A



中学校の部
金賞・埼玉県知事賞
所沢市立向陽中学校コーラス部



高等学校の部
金賞・埼玉県知事賞
埼玉栄高等学校コーラス部B

(写真提供 スタッフ・テス株式会社)

第14回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト

3月8日・9日 君津市民文化ホール

<小学校・中学校部門>

栄東中学校コーラス部 金賞 所沢市立向陽中学校コーラス部 金賞
所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部 銀賞 ふじみ野市立大井中学校音楽部 銅賞
富士見市立つるせ台小学校合唱部A 銅賞

<高等学校部門>

埼玉県立川越女子高等学校音楽部C 金賞 埼玉栄高等学校コーラス部 金賞
埼玉県立松山女子高等学校音楽部B 金賞 川越東高等学校合唱部 金賞
埼玉県立松山女子高等学校音楽部A 金賞 埼玉県立浦和高等学校グリークラブ 金賞
埼玉県立川越女子高等学校音楽部A 金賞 埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部 金賞
栄東高等学校コーラス部 銀賞
関東支部長賞 埼玉県立川越女子高等学校音楽部C

<一般部門>

Sopra il fiume 金賞 E-TRICOT 金賞 Blue Octopus 銅賞 Chor Ursa Major 銅賞
関東支部長賞 Sopra il fiume

埼玉県合唱連盟 Saitama Chorus League 2025年度主催事業

- ♪ SAITAMAコーラスワークショップ2025春 (5月25日 桶川市民ホール)
 - ♪ 第70回埼玉県合唱祭
(6月8日 彩の国さいたま芸術劇場 14・15日 埼玉会館 21・22日 桶川市民ホール)
 - ♪ レディースカンタートinさいたま (6月14日 埼玉会館)*
 - ♪ 第68回埼玉県合唱コンクール (8月23・24・31日 さいたま市文化センター)
 - ♪ 第34回彩の国男声コーラスフェスティバル2025 (9月27日 所沢市民文化センター ミューズ)
 - ♪ 第80回関東合唱コンクール大学職場一般部門 (10月5日 RaiBoC Hall 大ホール)*
 - ♪ SAITAMAコーラスワークショップ2025冬 (1月24日 RaiBoC Hall 小ホール)
 - ♪ 第37回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト (SVEC)
(1月17・18日 RaiBoC Hall レイボックホール 2月1日 久喜総合文化会館)
 - ♪ 第49回全日本おかあさんコーラス埼玉県大会～女声合唱の祭典～
(3月7・8日 和光市民文化センター サンアゼリア)
- ※全日本合唱連盟関東支部主催 埼玉県合唱連盟主管

県連関連事業

- ♪ 第75回全国植樹祭 (5月25日 秩父ミュージックパーク)
- ♪ 彩の国シニアコーラスフェスタ2025 (11月28日 所沢市民文化センター ミューズ)

2025年度も数々の事業を計画しています。

「SAITAMAコーラスワークショップ」は、「春」と「冬」の2回開催となります。また、埼玉県主管の関東支部主催事業として、「レディースカンタートinさいたま」と「第80回関東合唱コンクール大学職場一般部門」が開催されます。詳細は、埼玉県合唱連盟Webサイト等をご覧ください。

連盟事業ではありませんが、「第75回全国植樹祭」が5月25日(日)秩父ミュージックパークで行われます。式典では式典音楽隊(合唱)として県立伊奈学園総合高校、県立浦和高校、県立浦和第一女子高校、県立大宮高校、県立川越高校、県立松山女子高校の音楽部の皆さんが参加されます。

リフォームで 365日を新しく。

住まい価値創造企業
POLUS
ポラスグループ

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 TEL048-989-9119
※ポラスグループリフォーム売上高(2024年9月リフォーム産業新聞調べ)



https://all-reform.polus.co.jp/
ポラスでリフォーム 🔍

0120-85-7272



